



2015年3月25日発行 第22号
NPO法人葉山まちづくり協会
〒240-0112 三浦郡葉山町堀内1874
町立図書館2階
TEL&FAX 046-876-0421
e-mail: office@hayama-npo.or.jp

葉山まちづくり協会 検索



「日本ヨット発祥の地」の石碑

日本ヨット発祥の地 葉山港

日本で趣味やスポーツとしてヨットが始まったのは明治末期といわれている。明治45年夏、葉山で合宿していた慶応大学水泳部が小型ヨットを森戸海岸沖で帆走させたのが始まり。これが葉山が日本における「近代ヨット発祥の地」といわれる由縁で、葉山港入口に石碑が建てられている。

追い風だ！ 風をつかめ！

土日には、葉山港に学生時代からの仲間、会社の仲間、仕事のつながりの仲間が海に吸いよせられるようにやってくる。陸にはない開放感、少年時代に持っていた秘密基地が今は船。共通しているのは自分の世界、空間をもてるということ。自分の計画でどこでも行けるヨット人生は最高！

鈴木ヨットサービス

緊急時に要請を受けて救助に向かいます。ヨットの修理、部品の調達もするヨットマンのサポーター。

葉山町ヨットスクール

対象：葉山在住の小学3年生から高校3年生
毎年「広報はやま」3月号で募集。現在、43名が参加。
活動日：毎週日曜日
問合せ：葉山町セーリング協会 ☎ 875-4096

★強化選手としてシンガポールやオーストラリアに行っている生徒もいる。

写真：NPO 法人葉山ヨットクラブ

NPO法人葉山ヨットクラブ

<http://www.hayamayc.jp>

葉山港を基地とするヨット愛好家の活動を推進。葉山港管理事務所内にクラブルームを設けて活動。年10回レースを開催。

楽しく始めて続けるのが「ツ」

一度しかない人生、やりたいことをやって楽しく過ごさなければもったいない。今までよりもっといきいき日々を過ごすためにも、外に出て人とふれあい、楽しみを見つけよう。心地よい緊張感を得たら、きっと生活にハリと充実を感じられるだろう。

●写真「葉山写真塾」

撮影会のほか年に6回ほど専門家を招いて勉強会を行っている。毎年5月に町立図書館ホールで、秋には葉山文化祭で作品展。また、福祉活動として清寿苑、葉山の丘、葉山クリニックで会員の撮った写真を通年展示している。結成20年。
〈問合せ〉(878)8411 梶ヶ谷富久造



●鎌倉彫「温友会」

鎌倉彫を基本から、現代絵柄を取り入れて作品を作っている。美術感の喚起、指先を動かすことで脳の活性、集中力を高める。
〈日時〉第2・4水曜日 13時～15時
〈場所〉一色小学校新館
〈問合せ〉(875)5490 長田克時

●葉山町シルバー人材センター

軽大工仕事、植木の刈込・剪定・伐採、除草・草刈り、宛名書き、賞状書きなどで社会参加と生きがいの充実を図る。
(葉山町在住の60歳以上の男女)
〈問合せ〉(877)1555
葉山町シルバー人材センター



●グラウンドゴルフ

和気あいあいとゲームを楽しみ、健康維持の一助にもなっている。クラブ大会の他、各種県大会、町民大会、老連大会に参加し技能を研さん。日本グラウンドゴルフ協会公認の指導者が在籍しており、楽しく親切に指導。
〈日時〉
・長柄チーム(長柄小学校庭) 土曜9時～12時 日曜10時～12時
・葉山チーム(葉山小学校庭) 土曜または日曜 10時～12時
〈問合せ〉(876)0094 中山辰矢

始まりは他愛もない会話から。「葉山って面白い人がたくさん住んでいるよね。」
「海でよく会うあの、どんな仕事をしているの？」
「実はすごい人だね・・・」

発起人3人の好奇心から2014年11月に始まった「Feelin Hayama (フィーリン・ハヤマ)」。

地域コミュニケーションの促進を目的とした会である。ゲストのプレゼンテーションを聞いて、そこに集まった人たちが話をする中で人がつながるきっかけを作っている。堅苦しい会かと思うかもしれないが、片手にお酒やソフトドリンク、もう片手におつまみやお菓子を持って楽しく会が進む。

ゲストには葉山に関わりのある人を選ぶ。いろいろな分野で活躍する個性的な人たちが。話してもらうテーマにこだわらない。こたわりがないというところがポイントで、そこに集まった人たちが

興味深い話に聞き入る参加者たち



「知的好奇心を刺激させよう！」
「会の最後はハッピーに！」

葉山に面白人が集う

～ Feelin Hayama ～

に好奇心を持つて聞くことで、人生をより豊かにする新しいアイデアを見つけしていく。

今までのテーマは「点と点とのつながりで新たなものが創造される」と「教育」のふたつ。

3月29日のテーマはアイアンマントライアスロンの第一人者からみる「健康・運動」だ。ゲストの話は実におもしろい。興味がどんどん湧いてきて、もっと知りたくなる。プレゼンテーションの後はゲストと気軽に話すことができて、日常とは少し違うその空間が心地よく、終始笑顔でいられる。

情報はFacebook(フェイスブック)のみで公開しているが、多くの人の目に留まっている。葉山在住の人の反響が多いなか、東京から会に参加した人もいます。会に参加して、参加者同士がつながる。そこからまた新しいつながりが生まれる。

「知的好奇心を刺激させよう！」
「会の最後はハッピーに！」



興味のある方は「feelin hayama」で検索

昔遊びの名人たち

大山ゴマに紙ヒコーキ、けん玉、お手玉、折り紙。時代が変わってもやはり楽しい遊びがここにある！
今の子どもたちのお手並み拝見といきましょう。

今の子どもたちはゲームばかりで、外で遊ぶことを知らないとい嘆かれていた。昨今。

あなどることなかれ、葉山の子どもたちは、いろんな遊びを知っている。小学校では昔遊びを体験する場を設けているし、芝崎児童館では名人をお呼びしてベーゴマ大会やコマ回し大会を開いている。この日の児童館にはベーゴマをする聞きつけた5年生がたくさん集まっていた。どの子も児童館で名人に教えてもらって回せるようになったとのこと。子どものすごいところは見てすぐ覚えることで、あつという間に回せるようになる。ベーゴマ



はひもの巻き方が大切で、時間をかけて丁寧にかいて丁寧に回している。ベーゴマを一回に台に向けて投げ



台に乗せるのも難しい

ベーゴマ
平安時代に京都の周辺で始まり、パイ貝の殻に粘土を詰めてひもで回したのが始まりといわれる。ベーゴマは上面に軸が飛び出していないので、通常の投げゴマのような巻き方ができず、独特の巻き方をする。

コマ同士があたるパーンという音に迫力がある。勢いがあると火花が散る。名人は火花が出るようにコマを削るそう。あたつてコマが止まると、それを取る。最後まで残ったコマが勝ちである。

児童館には高校生も遊びに来ていて、年下の子に巻き方を教えている。この日は小さい子を遊びに連れてきたお父さんも、高校生に巻き方を教えてもらっていた。しばらくすると回せるようになって大喜び。いろいろな世代がひとつの遊びに夢中になっている。単純な遊びだが、奥が深い。会話ははずむ。
時代が流れても子どもたちの心をつかむ「昔遊び」は魅力的だ。その遊びに夢中になる子どもたちの笑顔も魅力的だ。

～意外にも子ども天国の酒店～

矢島酒店

明治2年創業の矢島酒店。現在の店主は4代目となる。店の隣りに石蔵も残っていて歴史を感じる。関東大震災の時には石蔵に保管していた米がご近所の大きな助けとなった。

お酒へのこだわりは並大抵ではない。展示会に出かけ、実際に口にする。名前にこだわらず、店主が飲んで美味しいものを仕入れる。めずらしいお酒を求めにくるリピーターもたくさんいるそう。また生ビールサーバーのレンタルが季節に関係なく人気で、条件が合えば冷えたジョッキの貸し出し

お店探訪

Flower Labo

2014年10月にオープンしたお花屋さん『Flower Labo』。取り扱う花は、枝ものにこだわっていて、他のお店ではあまり見られない花も売られている。香りも大事にしているそう。店内には、切り花、鉢、多肉植物、エアプランツなどが並ぶ。葉山の気候では多肉植物が育てやすいとのこと。そして、他のお花屋さんにもないもの、それがソフトクリームだ。はちみつソフトは自家製のはちみつを使っていて、そのはちみつに合うバニラを探した。

をするなど美味しいビールを飲むのに、一役かっている。
お店の場所は真名瀬バス停に近い。そのため、児童館に遊びにきた子どもたちがお菓子を買いにくることも多く、仲良くなった中学生が受験結果の報告にきてくれたりする。また、南郷中の職業体験の受け入れもしており、地域の子どもたちと積極的に関わっている。

子どもにとっても大人にとっても心あたたまるお店だ。



3月に入荷する秋田の銘酒「雪の茅舎」がおすすめ...

どうして花屋にソフトクリーム？店主が好きだったことと、お花屋さんに来るきっかけになればいいと考えたから。「子どもの頃にお花屋さんに行くと、大人になっても花屋に通う」という話があるそう。花を見ながらソフトクリーム。お花屋さんなのにゆっくりしたくなる心地よさがある。
毎月8日はセールを開催中。最新情報はフェイスブックをご覧ください。
「母の日」にはお花を・・・
<http://www.facebook.com/flower.labo>



大きな声を出し、いつまでも人生イキイキしよう！

真名瀬カラオケ同好会

会の事務局をしている矢島さんがまだ現役で会社勤めのころ、ある朝、浜辺で老人が一人で酒を飲んでいるのを真名瀬バス停から見た。「こんなところではなく真名瀬会館で飲んだら良いのにな」と思ったのがきっかけだった。お酒を飲むだけではなく雑談しながらだと楽しいだろうな、歌ったらもっと楽しいのでは、と社協にカラオケを通して懇談会をやりたいと持ち込んだのがはじまり。



立ち上げてから今年で12年。真名瀬町内在住者のみならず、芝崎、森戸、堀内などから、なかには小坪から来る人も、横須賀から自転車で来る人もいた。ひとり暮らしの方、身体の不自由な方、高齢者を抱えている方もカラオケで

わきあいあいと

足が痛むが杖をつきながら風早から参加された人、奥さんを亡くされ一人暮らしの人などいろいろ。みな「お酒を飲みながら好きな歌を歌ったので夜はぐっすり眠ることができた」と大喜び。参加者は70～80歳代、最高齢は90歳。

はじめは手が震え、うまく歌えない人も何曲か歌っているとマイクを放さなくなるほど自信を持つようになる。
良い仲間がいるおかげで活動は充実しさらに広がっている。老人クラブ連合会の新春懇親会と7月の芸能大会に参加。5月には真名瀬町内にある熊野神社の祭

りでカラオケ大会実施。また、有志6～7名で老人ホームを慰問、一緒に「赤とんぼ」など童謡を歌い喜ばれている。
葉山町内のカラオケ同好会
真名瀬カラオケ同好会
毎月1回15～20名が参加
場所 真名瀬会館
時間 14時～17時
問合せ 矢島明

森戸ふれあいサロン

唄う人も唄わない人も集い、おしゃべりに花が咲きます
場所 真名瀬会館
問合せ 池田忠雄

上山口カラオケ愛唱会

はじめに30分同じ曲を全員で練習、みなが生徒で先生
場所 個人の家庭
問合せ 鈴木勇

本古庭歌謡クラブ

新曲主体だが課題曲、自由曲も
場所 本古庭会館
問合せ 池田栄善
046 (878) 6833

葉山テスト

「葉山町の歴史とくらし」から出題します
(カッコ内は出題ページ)

1 左の図は葉山町で最も多くみられる家紋です。何という？ (P149)



2 明治40年に堀内郷学校の仮校舎となり、葉山町の学校教育発祥の地となった寺で現在幼稚園を営んでいるのは？ (P130)

- ① 新善光寺
- ② 相福寺
- ③ 本圓寺

3 昭和55年に制定された葉山町歌の作曲者はだれ？ (P251)

- ① 宮城道雄
- ② 山下洋輔
- ③ 團伊玖磨

※答えは左上に
町制施行90周年記念「葉山町の歴史とくらし」は一冊千五百円。町役場、図書館、近隣書店で販売中です。